

46 吉屋チル

ジュリ（遊女）ね、遊郭の。貧乏なんだね、親が。ジュリに売られたて。遊郭に。そしたら、自分がね、歌を詠んでね。上句はこの吉屋ウミチルが言うんだがね、下句をね、わかる人になったら、あれはお客さんになったらいい。そして、ジュリを、すぐく歌った男がね、お客さんになったらいいですよ。

国頭ね、山原从那覇のほうにね、ジュリ売りされた時に作ったという。このヒジャ橋（比謝橋）という橋があった。ヒジャ橋。この橋を造ってね。連れて行った途中でね、橋を渡ろうとした時に歌を詠んでね。『私を渡すために架けた』。また、いやいやながらね、行ったらいいよ。連れて行ってね。

字兼城 大城ウシ
 字豊原 国吉マツ
 字与座 伊敷スエ
 字新垣 宜野座仁一郎
 字名城 新垣武登
 字福地 川門カメ
 字伊原 上原孝助
 字喜屋武 前原タツ

字北波平 大城正太郎

類話